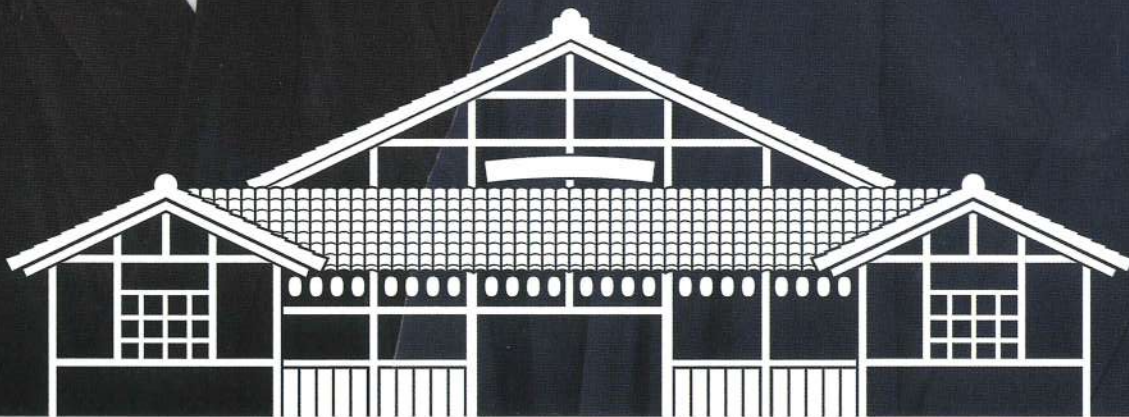




中村勘九郎 中村七之助
全国芝居小屋
 錦秋特別公演
 2017



2017年11月5日(日) 12時30分開演 / 16時00分開演 ※開場は開演の30分前

会場: 相生座 岐阜・瑞浪市

料金: S席 10,000円(全席指定・税込) ※未就学児童入場不可

- チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード 480-977) <http://w.pia.jp/t/kinshu2017/> (パソコン・携帯) セブン-イレブン、サークルK・サンクス、ファミリーマート、チケットぴあ 店舗
- ローソンチケット 0570-084-004(Lコード 43916) 0570-000-407(オペレーター 10:00-20:00) <http://l-tike.com/kinshu2017/> (パソコン・携帯) ローソン・ミニストップ 店内Loppi
- イープラス <http://eplus.jp/kinshu2017/> (パソコン・携帯) ファミリーマート 店内Famiポート ●美濃歌舞伎博物館 相生座 0572-68-0205

企画・制作: 株式会社ファーンウッド、株式会社ファーンウッド21 製作: 松竹 協力: 東海テレビ放送 制作協力: サンライズプロモーション東京

主催・お問合せ: 美濃歌舞伎博物館 相生座 0572-68-0205(月曜除く10:00-17:00)

8月8日(火)
10:00AM
発売開始



平成29年度文化庁
劇場・音楽堂等活性化事業

二、棒しばり

大名(小三郎)の留守の間、いつも酒を盗み飲んでる太郎冠者(鶴松)と次郎冠者(勘九郎)。日頃からそれを苦々しく思っていた大名は、今日は二人を棒や後ろ手に縛り、安心して出掛けますが、二人は何とかして酒を飲もうと大奮闘！見どころ満載の舞台をたっぷりとお楽しみ下さい。

一、歌舞伎塾

日頃皆様にご覧頂いている歌舞伎の舞台は、どのような人達によって支えられ、どのようにして拵こしらえをしていくのか。普段は決して見る事の出来ない歌舞伎の舞台裏を、勘九郎・七之助が楽しくご紹介致します。昨年大好評を頂いた「歌舞伎塾」。今年も皆様にお届け致します。

三、藤娘

舞台一面に咲き誇る藤の花房。その前に現れた一人の娘(七之助)。塗笠を被り藤の枝を担いだ美しく艶やかなその姿はまるで藤の精。藤の花に戯れながら、時には可憐に、時にはしっとりと恋心を踊ります。女形の魅力にあふれた一幕をどうぞご堪能下さい。



中村 勘九郎

1981年生まれ、東京都出身。十八代目中村勘三郎の長男。1986年1月歌舞伎座にて初お目見得。1987年1月歌舞伎座「門出一人桃太郎」の兄の桃太郎で、二代目中村勘太郎を名乗り初舞台を踏む。2012年2月新橋演舞場「土蜘蛛」の徳富新五郎は土蜘蛛の精「春風獅子」の小姓新五郎に獅子の精など、六代目中村勘九郎を襲名。歌舞伎にとどまらず、舞台「おくりびと」、「真田十勇士」、大河ドラマ「新選組!」、映画「禅」など幅広く精力的な活動を続けている。2012年松尾芸能賞新人賞、2013年読売演劇大賞最優秀男優賞、2015年森光子の奨励賞などを受賞。

中村 七之助

1986年生まれ、東京都出身。十八代目中村勘三郎の次男。1986年9月歌舞伎座「権(おり)」の祭りの子助吉で初お目見得。1987年1月歌舞伎座「門出一人桃太郎」の弟の桃太郎で、二代目中村七之助を名乗り初舞台を踏む。以後、舞台出演のみならずさまざまな所でも活躍。2003年にはハリウッド映画「ラストサムライ」に明治天皇役で出演。また2016年には演出家デヴィット・ルヴォー演出の現代劇「ETERNAL CHIKAMATSU」に出演。2015年松尾芸能賞 新人賞受賞、2015年第1回 森光子の奨励賞などを受賞。

中村 鶴松

1995年生まれ、東京都出身。2000年5月歌舞伎座「源氏物語」の苗の上弟竹徳で子役として本名で出演。以来子役として数多くの舞台に出演。2005年5月「菅原伝授手習鑑」車引の杉王丸で、二代目中村鶴松を名乗り部屋子襲名。以後、中村屋の部屋子として勉学と舞台を両立させ奮闘中。

芝居小屋にて公演



〈岐阜県〉かしも 明治座
11月3日(金・祝)



〈岐阜県〉東座
11月4日(土)



〈岐阜県〉相生座
11月5日(日)



〈香川県〉旧金毘羅大芝居(金丸座)
11月10日(金)、11日(土)



〈愛媛県〉内子座
11月14日(火)



〈熊本県〉八千代座
11月16日(木)、17日(金)



〈福岡県〉嘉穂劇場
11月18日(土)、19日(日)



〈群馬県〉ながめ余興場
11月25日(土)、26日(日)